



アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ（愛称：GGO）

追加型投信／内外／株式

第45期（決算日2021年2月1日）

作成対象期間（2020年8月1日～2021年2月1日）

第45期末（2021年2月1日）	
基準価額	23,715円
純資産総額	2,045百万円
第45期	
騰落率	19.7%
分配金（税込み）合計	20円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数第2位を四捨五入して表示しております。

（注）純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しております。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ」は、このたび第45期の決算を行いました。

当ファンドは、マザーファンドを通じて、主として日本を含む世界各国の株式に分散投資し、成長の可能性が高いと判断されるセクターの中から、成長性が高いと思われる銘柄に投資するアクティブ運用を行います。当期についても、これに沿った運用を行いました。

ここに、当期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町二丁目1番6号 日比谷パークフロント

お問合せ先 **お客様窓口**

電話番号 **03-5962-9687**（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

ホームページアドレス <https://www.alliancebernstein.co.jp>

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。書面での交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

○当ファンドは、信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、アライアンス・バーンスタイン株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

<「運用報告書（全体版）」の閲覧・ダウンロード方法>

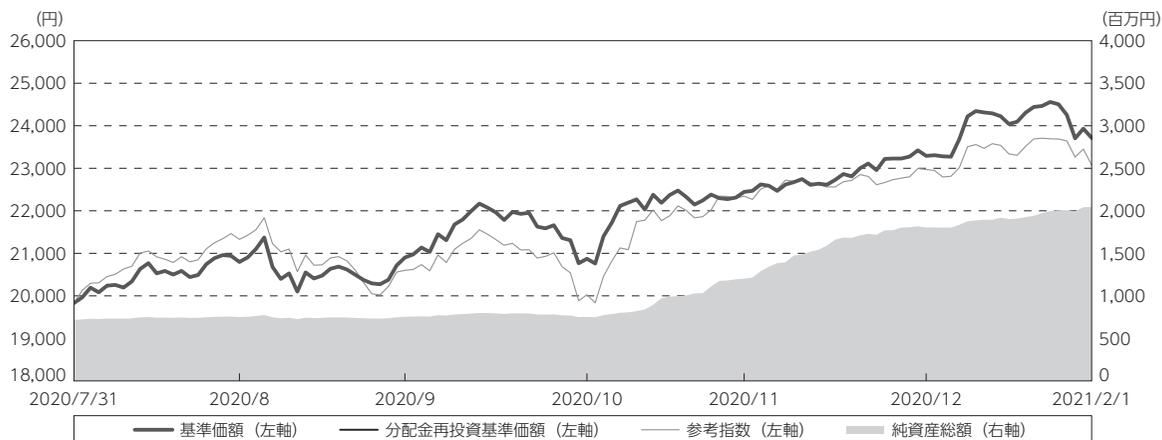
上記ホームページアドレスにアクセス → 「基準価額一覧（国内投資信託）」を選択 → 「株式型」の表内の当ファンド名を選択 → 「運用報告書（全体版）」のリンクを選択

運用経過

アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ（以下「当ファンド」）の運用状況をご報告いたします。

期中の基準価額等の推移

(2020年8月1日～2021年2月1日)



期首：19,829円

期末：23,715円 (既払分配金(税込み)：20円)

騰落率：19.7% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首(2020年7月31日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
 (注) 参考指数は、MSCIワールド・インデックス(円ベース)です。詳細はP4をご参照ください。

○基準価額等の推移

基準価額(分配金(税込み)再投資)は前期末比+19.7%*と、世界の株式市場の動きを表すMSCIワールド・インデックス(円ベース)の同+16.4%を上回るパフォーマンスとなりました。

*基準価額の騰落率は、税込み分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスを示しています。税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・情報技術関連や資本財・サービス関連などの保有銘柄の価格上昇

下落要因

- ・素材関連などの保有銘柄の価格下落

1 万口当たりの費用明細

(2020年8月1日～2021年2月1日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	203	0.937	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(103)	(0.474)	委託した資金の運用、基準価額の算出、法定書類作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(91)	(0.418)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(10)	(0.045)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	4	0.018	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	(4)	(0.018)	売買委託手数料は、組入金融商品等の売買の際に売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	3	0.012	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	(3)	(0.012)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	3	0.014	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(2)	(0.009)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.001)	その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	213	0.981	
期中の平均基準価額は、21,723円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

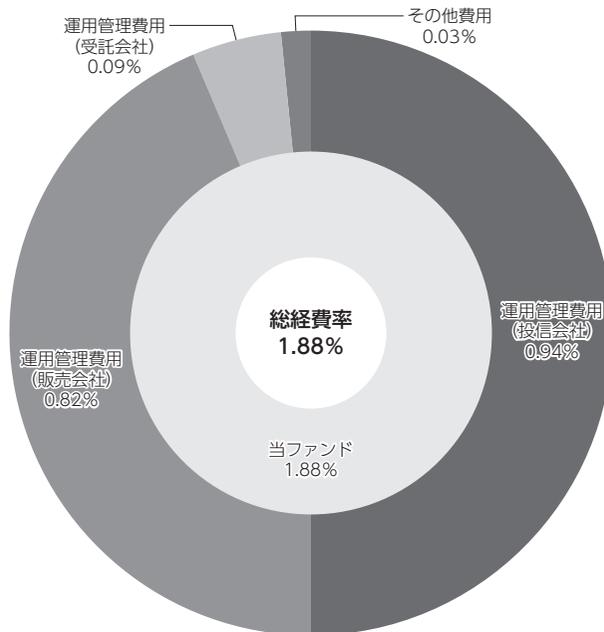
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.88%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

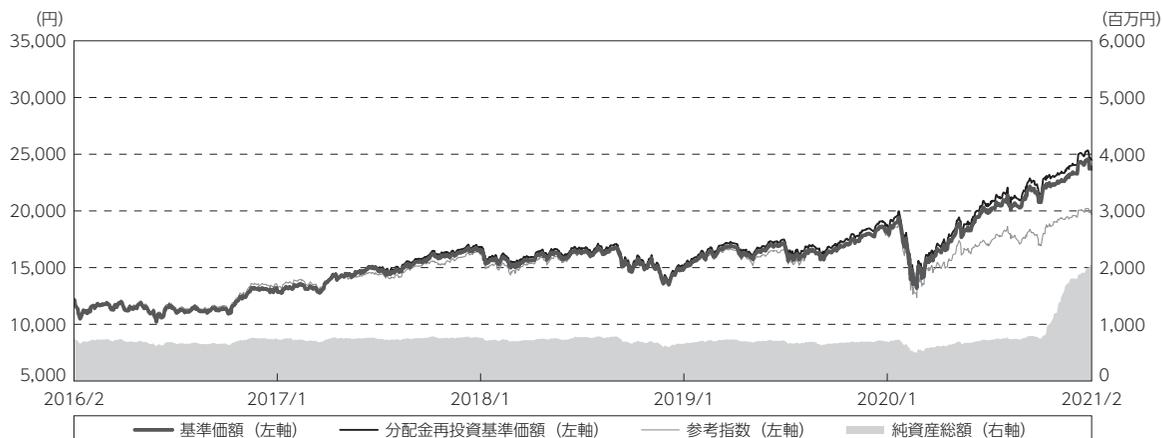
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2016年2月1日～2021年2月1日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2016年2月1日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2016年2月1日 決算日	2017年1月31日 決算日	2018年1月31日 決算日	2019年1月31日 決算日	2020年1月31日 決算日	2021年2月1日 決算日
基準価額 (円)	12,168	12,910	16,345	14,908	18,237	23,715
期間分配金合計(税込み) (円)	—	90	170	0	170	90
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	6.8	28.0	△ 8.8	23.5	30.6
参考指数騰落率 (%)	—	10.0	20.3	△ 7.3	20.4	9.4
純資産総額 (百万円)	762	733	753	657	696	2,045

- (注) 上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 (注) 参考指数は、MSCIワールド・インデックス (円ベース) です。

●参考指数に関して

○MSCIワールド・インデックス (円ベース)

MSCIワールド・インデックスは、世界の先進国の株式市場のパフォーマンスを測る指数で、各国の株式時価総額等をベースに算出されたものです。MSCIワールド・インデックス (円ベース) は、MSCIワールド・インデックス (米ドルベース) をもとに、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて委託会社が円換算したものです。

当資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。

投資環境

(2020年8月1日～2021年2月1日)

【株式市場】

当期の世界の株式市場は、前期末比で上昇しました。

2020年8月から9月初めにかけては、予想を上回る米国経済の回復や米国の金融緩和長期化の見通しなどから、堅調に推移しました。しかしその後、米国ハイテク関連銘柄の下落や、欧米での新型コロナウイルス感染再拡大への懸念などから反落しました。9月末には米国の追加経済対策への期待などから反発したものの、10月中旬以降は、欧米での新型コロナウイルス感染再拡大を受けて再び下落しました。11月に入ると、米国大統領選挙でのバイデン氏の勝利や新型コロナウイルスのワクチン開発をめぐる好材料などを受けて大きく上昇し、その後も欧米での新型コロナウイルスのワクチン接種の開始や米国での追加経済対策の成立、イギリスと欧州連合（EU）の通商交渉合意などが好感され、おおむね堅調に推移しました。米国で大統領と議会上下両院の過半数を民主党が占め、大規模財政出動が期待されたことも好材料となりました。

【為替市場】

円ドル・レートは、前期末と比べてほぼ変わらずとなりました。

2020年8月前半は円安傾向で推移しましたが、その後は新型コロナウイルスの世界的感染拡大や、米中間の緊張の高まりなどを背景に、12月にかけて円高ドル安基調で推移しました。2021年1月に入ると、米国国債金利の上昇などから若干円安ドル高に転じました。

当ファンドのポートフォリオ

(2020年8月1日～2021年2月1日)

<当ファンド>

当ファンドは、アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド（以下「マザーファンド」ということがあります。）受益証券への投資を通じて、主として持続的な成長が見込まれるテーマに基づいた世界各国（日本を含む）の株式へ投資することにより、信託財産の成長を目指します。

当ファンドは引き続き、ほぼ全額をマザーファンド受益証券に投資しました。

<マザーファンド>

世界各国（日本を含む）の株式を対象に成長の可能性が高いと判断されるセクターにおいて、グローバルな視点で調査・分析し、持続的な成長が見込まれるテーマに基づいた銘柄に投資するアクティブ運用を行います。

運用にあたっては、企業ファンダメンタル分析に基づき、高い利益成長もしくは持続的な利益成長の可能性が高いと判断される企業に対する投資を継続して行いました。

その結果、セクター配分においては、資本財・サービス・セクターや金融セクターなどの組入比率が上昇しました。一方、素材セクターやヘルスケア・セクターなどの組入比率が低下しました。国別配分においては、アメリカやインドなどの組入比率が上昇しました。一方、オランダやデンマークなどの組入比率は低下しました。

<マザーファンドのセクター別組入比率>

前期末（2020年7月31日現在）

セクター	比率
情報技術	26.0%
ヘルスケア	24.3%
資本財・サービス	14.5%
金融	8.9%
素材	6.4%
その他	13.1%
現金等	6.9%



当期末（2021年2月1日現在）

セクター	比率
情報技術	25.7%
ヘルスケア	22.5%
資本財・サービス	17.9%
金融	11.2%
一般消費財・サービス	6.1%
その他	11.2%
現金等	5.4%

<マザーファンドの国別組入比率>

前期末（2020年7月31日現在）

国	比率
アメリカ	46.6%
オランダ	8.8%
デンマーク	5.5%
ドイツ	5.3%
スイス	4.2%
その他	22.7%
現金等	6.9%



当期末（2021年2月1日現在）

国	比率
アメリカ	53.7%
オランダ	7.4%
スイス	4.3%
インド	4.1%
デンマーク	4.1%
その他	21.1%
現金等	5.4%

（注）セクター配分は、MSCI/S&PのGlobal Industry Classification Standard（GICS）の分類で区分しています。
 国別配分は、発行体の国籍や事業基盤等を考慮して区分しています。

個別銘柄では、新興・中規模成長企業向けに商業銀行サービスを提供するSVBファイナンシャル・グループや、医療機器会社のステリスなどを新規に組み入れたほか、製薬業界にデータ管理等のサービスを提供するアイコンなどを買い増しました。一方、建築資材メーカーのキングスパン・グループや、

ソフトウェア開発・販売会社のエヌビディアなどを全て売却したほか、ガラスやプラスチック製の保存用・医薬品用容器メーカーのゲレシエイマーなどを一部売却しました。

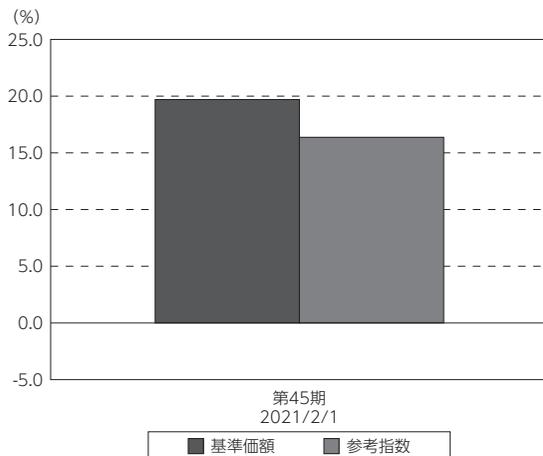
株式の組入比率は、期を通じて高い水準を維持しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2020年8月1日～2021年2月1日)

当ファンドは、特定の指数を上回ることを目指す運用を行っていないため、ベンチマークを設けておりません。右のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



- (注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。
(注) 参考指数は、MSCIワールド・インデックス（円ベース）です。詳細はP 4をご参照ください。

分配金

(2020年8月1日～2021年2月1日)

当期の収益分配については、配当等収益に基づき、基準価額水準、市場動向等を勘案し、20円（1万口当たり、税込み）としました。なお、収益分配に充てなかった利益については、信託財産内に留保し「運用の基本方針」に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第45期
	2020年8月1日～ 2021年2月1日
当期分配金	20
(対基準価額比率)	0.084%
当期の収益	20
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	15,929

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の当期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切り捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注) 上記表は、経費控除後の数値です。

今後の運用方針

<当ファンド>

引き続き、マザーファンド受益証券にほぼ全額投資する方針です。

<マザーファンド>

新型コロナウイルスのワクチン接種の進展期待や追加景気対策、緩和的な金融政策などを織り込む形でグローバル株式市場は堅調に推移していますが、今後さらに上昇基調を保つかは、新型コロナウイルスの収束が鍵となるとみています。しかし、そうした中でも、各国の構造改革や新規投資を追い風に成長を続けるセクターや、新たなサイクルを生み出すビジネスモデルに着目した投資には一定のリターンが期待されます。

マザーファンドでは、持続可能な利益成長が期待される投資機会として、国際連合総会で採択された持続可能な開発目標に対応する企業に着目しています。今後も長期的に成長が期待されるセクターやテーマに基づいて、高い利益成長または持続的な利益成長の可能性が高いと判断される企業を発掘する方針です。

※将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。

お知らせ

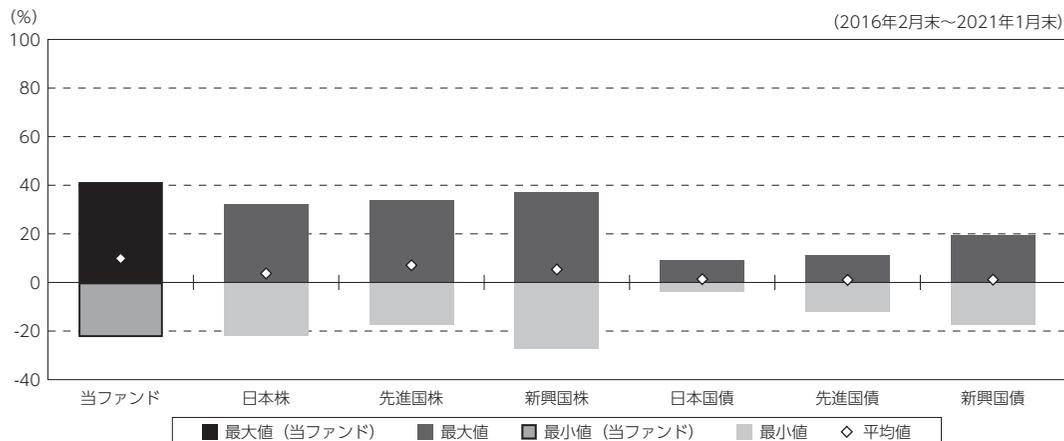
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	無期限。ただし、信託約款所定の事由が生じた時は、信託契約を解約し、信託を終了（償還）することがあります。	
運用方針	アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド受益証券への投資を通じて、信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。	
主要投資対象	アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ	アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド	世界各国の株式（日本株を含みます）を主要投資対象とします。
運用方法	<p>①マザーファンドを通じて、主として日本を含む世界各国の株式に分散投資します。</p> <p>②成長の可能性が高いと判断されるセクターの中から、成長性が高いと思われる銘柄に投資するアクティブ運用を行います。</p> <p>③マザーファンドの運用は、アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーに委託します。</p> <p>④実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>⑤ファミリーファンド方式で運用を行います。</p>	
分配方針	<p>(1) 毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額は、経費控除後の利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②分配金額は、委託者が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配を行わない場合もあります。</p> <p>(2) 留保益の運用については、特に制限を設けず、「基本方針」および「運用方針」に基づき元本と同一の運用を行います。</p>	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	41.3	32.2	34.1	37.2	9.3	11.4	19.3
最小値	△ 22.5	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	9.9	3.7	7.1	5.3	1.4	1.0	1.1

(注) 上記グラフは、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて、2016年2月～2021年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大・最小・平均を表示し、定量的に比較できるように作成したものです。なお、すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
 (注) 当ファンドの年間騰落率は分配金再投資基準価額に基づき計算した騰落率ですので、実際の基準価額に基づき計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

《各資産クラスの指数》

- 日本株…… TOPIX (東証株価指数、配当込み)
- 先進国株…… MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)
- 新興国株…… MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)
- 日本国債…… NOMURA - BPI 国債
- 先進国債…… FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)
- 新興国債…… JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、P13の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2021年2月1日現在)

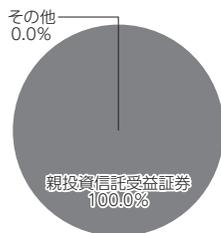
○組入ファンド

銘 柄 名	第45期末
	%
アライアンス・パースタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド	100.0
組入銘柄数	1銘柄

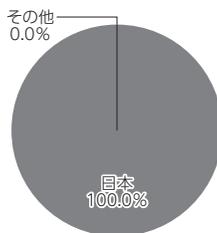
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

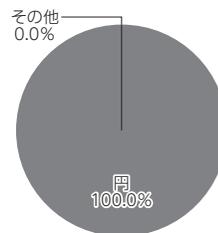
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

純資産等

項 目	第45期末
	2021年2月1日
純 資 産 総 額	2,045,807,955円
受 益 権 総 口 数	862,657,300口
1万口当たり基準価額	23,715円

(注) 期中における追加設定元本額は532,145,481円、同一部解約元本額は30,833,439円です。

組入ファンドの概要

アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド

当マザーファンドの当計算期間の運用経過等については、「運用報告書（全体版）」をご覧ください。運用報告書（全体版）の入手方法は、表紙ページの一番下の段に記載しております。

【基準価額の推移】



【1万円当たりの費用明細】

(2019年8月1日～2020年7月31日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	8 (8) (0)	0.028 (0.028) (0.000)
(b) 有価証券取引税 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	3 (3) (0)	0.010 (0.010) (0.000)
(c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	23 (4) (18)	0.080 (0.016) (0.064)
合 計	34	0.118

期中の平均基準価額は、28,103円です。

- (注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。
 (注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
 (注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。
 (注) 各比率は、1万円当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

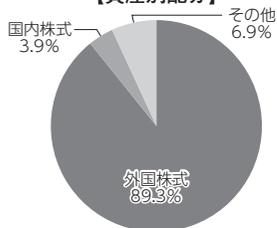
【組入上位10銘柄】

(2020年7月31日現在)

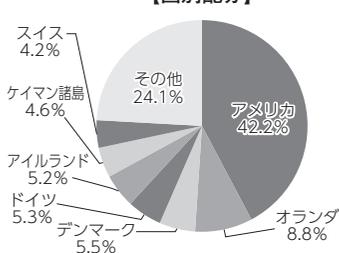
銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国（地域）	比率
1 GERRESHEIMER AG	医薬品/バイオテクノロジー/ライフサイエンス	ユーロ	ドイツ	3.1%
2 CHRISTIAN HANSEN HOLDING A/S	素材	デンマーククローネ	デンマーク	2.9%
3 BIO-RAD LABORATORIES A	医薬品/バイオテクノロジー/ライフサイエンス	米ドル	アメリカ	2.9%
4 ADYEN NV	ソフトウェア・サービス	ユーロ	オランダ	2.8%
5 MSCI INC	各種金融	米ドル	アメリカ	2.8%
6 VESTAS WIND SYSTEMS A/S	資本財	デンマーククローネ	デンマーク	2.6%
7 KONINKLIJKE PHILIPS NV	ヘルスケア機器・サービス	ユーロ	オランダ	2.6%
8 WEST PHARMACEUTICAL SERVICES	ヘルスケア機器・サービス	米ドル	アメリカ	2.5%
9 TECAN GROUP AG-REG	医薬品/バイオテクノロジー/ライフサイエンス	スイスフラン	スイス	2.4%
10 KINGSPAN GROUP PLC	資本財	ユーロ	アイルランド	2.3%
組入銘柄数		52銘柄		

- (注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
 (注) 国（地域）につきましては発行国を表示しております。

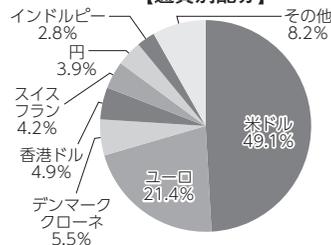
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



- (注) 比率は当マザーファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

○TOPIX（東証株価指数、配当込み）

TOPIX（東証株価指数、配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。